

**ソセツ中央教育学区**  
**私書箱9029**  
**ショセツ、ニューヨーク11791**

**障害のある子供への食事サービス**

親愛なる親/保護者:

National School Lunch Program(NSLP)と School Breakfast Program(SBP)は、バックグラウンドに関係なく、参加するすべての子供たちに健康に必要な栄養価の高い食事を提供することを目指しています。

これには、障害のある子どもがNSLPとSBPに参加し、その恩恵を受ける機会を平等に確保することが含まれます。

連邦政府の規制により、学校や機関は、障害のために食事が制限され、提供される食品や予定されたメニューに何らかの変更を加えない限り、フードサービスプログラムに完全に参加できない子供たちに追加料金なしで食事を提供することを義務付けています。

お子さんが障害のために代替品が必要だと思われる場合は、詳細についてお問い合わせください。学校に食事の変更をリクエストし、州の認可を受けた医療専門家からの医療明細書を学校に提供する必要があります。この医療明細書には、次のものが含まれている必要がありますが、これらに限定されません。

- 子供の身体的または精神的障害に関する情報で、学校が子供の食事をどのように制限しているかを理解するのに十分なもの、
- 子供の特別な食事のニーズに対応するために何をしなければならないかの説明、
- 変更された食事の場合に省略される食品と推奨される代替品

食事の変更の必要性について質問がある場合は、**MSIにお問い合わせください。詳細については、516-364-5616の生徒人事サービスの副監督であるエリン・ゴールドスウェイト。**

**差別禁止声明:**

連邦公民権法および米国農務省(USDA)の公民権規制および政策に従って、この機関は、人種、肌の色、国籍、性別(性自認および性的指向を含む)、障害、年齢、または以前の公民権活動に対する報復または報復に基づいて差別することを禁じられています。

プログラム情報は、英語以外の言語で提供されている場合があります。プログラム情報(点字、大型印刷物、オーディオテープ、アメリカ手話など)を取得するために代替の通信手段を必要とする障害者は、プログラムを管理する責任ある州または地方機関、またはUSDAのTARGETセンター((202)720-2600(音声およびTTY))に連絡するか、連邦中継サービス(800)877-8339)を通じてUSDAに連絡する必要があります。

プログラム差別の苦情を申し立てるには、申立人はフォームAD-3027、USDAプログラム差別苦情フォームに記入する必要があります。これは、[オンラインで入手できます:https://www.usda.gov/sites/default/files/documents/ad-3027.pdf](https://www.usda.gov/sites/default/files/documents/ad-3027.pdf)、USDAオフィスから、(866)632-9992に電話するか、USDAに宛てた手紙を書くことによって。書簡には、申立人の氏名、住所、電話番号、および公民権侵害の申し立ての性質と日付について公民権次官補(ASCR)に通知するのに十分な詳細の差別的行為の書面による説明が含まれていなければなりません。記入済みのAD-3027フォームまたはレターは、次の方法でUSDAに提出する必要があります。

1. **郵便:**

米国農務省公民権次官補事務所  
1400インディペンデンスアベニュー、  
SWashington、DC20250-9410  
;又は

2. **ファクシミリ:**

(833)256-1665または(202)690-7442;又は

3.

[email:program.intake@usda.gov](mailto:program.intake@usda.gov)

この機関は機会均等のプロバイダーです。